

1 活動名 財政の質問のポイント

2 研修の目的

(1) 本市における課題

本市の財政は健全財政が堅持されている。その確認は決算審査においてしているところであるが、予算審査における審査状況を見ると、出口と入口において出口部分の審査に重点が置かれている。それは、当初予算において分割付託された委員会審査では、総務委員会を除き入り口である歳入と一体とした審査が出来ていないためである。これらを一体的、体系的に捉えることが不足していると感じている。

(2) 研修の必要性

歳入のうち財政制度として地方交付税や市債等の仕組みを国の動向と併せて押さえることが、予算審査において不可欠である。また、決算から予算につながる一連のつながりを予算編成手法と関連付けて知見として知る必要がある。そのうえで、予算の原則として、歳入を歳出と絡めて審査するうえで、財政の基本を押さえておく必要がある。

(3) 研修項目 程岡 俊和 大阪府寝屋川市監査事務局長・公平委員会事務局長

「財政の質問のポイント基礎編1」議員が知っておくべき財政の話 基礎編1

「財政の質問のポイント基礎編2」議員が知っておくべき財政の話 基礎編2

3 研修内容

(1) 日時 令和2年4月22日（水）10:00～16:30

(2) 会場 日本橋カンファレンスセンター ⇒ 中止 音声データと資料の送付を受け自宅で研修

(3) 出席者 1名 上條一正

(4) 内容

ア 「財政の質問のポイント基礎編1」議員が知っておくべき財政の話 基礎編1

①財政の基本的知識と用語の解説

②歳入、歳出、科目別予算のあらまし

③予算編成から決算まで（当初予算、補正予算、決算）

④事業の着眼点と事業の評価方法

イ 「財政の質問のポイント基礎編2」議員が知っておくべき財政の話 基礎編2

①地方交付税制度

②臨時財政対策債

③市債と基準財政需要額との関係

④予算化されやすい予算要望

(5) 成果・所感等

地方自治体で財政課長、財政部長を歴任され、実務において市議会とのやり取りを実施してきた経験者の話は、現実的であり様々な示唆に富んでおり参考とする内容が多々あった。特に、臨時財政対策債に関しては、国が決めた制度であっても地方自治体にとって大きな負担を伴うことが背景にあることが分かったことは収穫である。しかし、予算審議においてこの問題を提起することで、本市の財政問題に何をもたらすかの部分を深掘りしきれていないことが現在の課題として捉えている。

研修後、令和元年度決算において委員ではなかったが、審議を傍聴する中で同僚議員に協力いただき、予算と決算の関係を資することができたことは有意義であった。また、当初予算における予算説明会では、歳入と歳出を連動した視点で質問が出来た。今後は、地方財政制度を更に学ぶ中で財政当局としっかりとした議論をしていきたい。

4 政務活動費

- (1) 使途項目 研究研修費
- (2) 支出額 30,000 円(受講料 30,000 円)×1人

—以 上—